

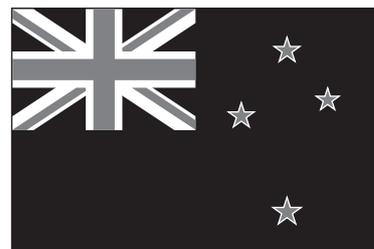
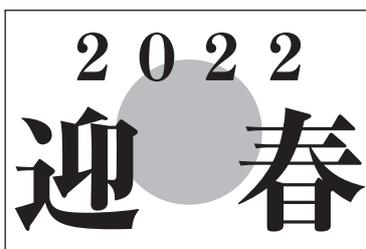
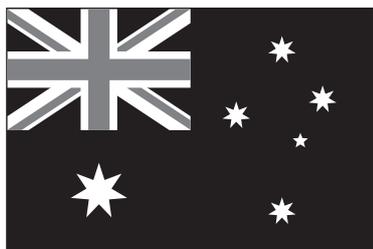
名古屋日豪協会会報

ニューージーランド

THE JAPAN - AUSTRALIA AND NEW ZEALAND SOCIETY OF NAGOYA

事務所 名古屋市中川区福住町2番26号

電話<052>361-8415 FAX<052>361-8877



会長 林 芳行

新年 明けましておめでとうございます

2022年の年頭にあたり、当協会員の皆様のご支援とお力添えに対し、御礼申し上げます。また本年も日本とオーストラリアおよびニューージーランドとの友好関係が、益々深くなっていくことをお祈り申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスに翻弄された一年でありましたが、ワクチン接種が計画的に行われ、また経済政策も徐々に施されており、長いトンネルの出口が何となく見えて来た様に思います。1年延期され

た東京五輪2020は無事開催され、日豪ニューージーランド三国は多くのメダルを獲得しました。また五輪運営に際し、日本のおもてなし精神が改めて世界で評価された1年でもありました。当協会では総会やクリスマスパーティが2年連続で中止となり、会員の皆様と長らくお会い出来ておらず残念でなりません。今年こそ当協会イベントが開催出来ること、そして皆様との再会を願うばかりです。

もう暫くの間、新型コロナウイルスの影響が続くと思いますが、2022年が会員皆様にとっても当協会にとっても、充実した1年となるよう協会運営に邁進したく存じます。会員皆様の一層のご健勝とご多幸、そして当協会の発展を祈念し年頭の挨拶とさせていただきます。





ニュージーランド大使よりメッセージ

名古屋日豪ニュージーランド協会皆様のご長年にわたる日ニュージーランド交流強化へのご支援ならびにご理解に対し、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、恒例イベントのクリスマス会中止を本年度も早々に決定されたと伺っております。誠に残念ではございますが、第6波到来の可能性が完全に払拭されていない中、賢明なご判断であると存じます。

今夏は2020年から延期されたオリンピック・パラリンピックが無観客で開催され、先月ニュージーランドが議長国を務めた APEC はバーチャルで行うなど模索の日々が続きましたが、それぞれ大成功を収めました。ジャシンダ・アーダーン首相は国民を守るために厳しい水際規制を敷く一方で、ワクチン接種が進み、段階的に緩和の方向にあります。来年は、ニュージーランドと日本の外交樹立70周年を祝う大事な節目の年でございます。2022年こそは人々の往来が再び自由になりますようにと心から願っております。

林会長を始め、会員の皆様におかれましては、どうぞ御身体をご自愛ください。皆様と直接お目にかかれます日を楽しみにしております。

駐日ニュージーランド大使

ハイミッシュ・クーパー

2021年12月吉日



大村知事メッセージ

明けましておめでとうございます。

名古屋日豪ニュージーランド協会の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

名古屋日豪ニュージーランド協会は、1978年の設立以来、愛知県とオーストラリア、ニュージーランドとの相互理解と友好親善の促進に尽力してこられました。長きに渡り継続して活動してこられた協会の皆様に、改めて敬意を表します。

この地域は、オーストラリアやニュージーランドと強い絆で結ばれています。愛知県は、1980年にオーストラリア・ビクトリア州と友好提携を締結して以来、幅広い分野で交流を深めてまいりました。さらに、名古屋市を始めとする県内7市がオーストラリアの自治体と姉妹都市提携をしており、西尾市がニュージーランド・ポルリア市と姉妹都市提携をしております。新型コロナウイルス感染症の影響により往来が難しい状況においても、各自治体が様々な工夫により友好交流を促進しております。一日も早く自由な往来が再開し、これまで以上に愛知県とオーストラリア、ニュージーランドとの友好関係が発展することを祈念いたします。

さて、今年には1872年に現在の愛知県が誕生してから、150周年にあたる記念すべき年です。県民の皆様に、愛知への愛着と誇りを改めて持っていただき、そして、将来も愛知県に住み続け、愛知をより良くしていきたいと思っただけけるよう、全力で取り組んでまいります。

また、7月には、国際芸術祭「あいち2022」を開催します。秋には、ジブリパークの「青春の丘エリア」「ジブリの大倉庫エリア」「どんどこ森エリア」が開業します。愛知の魅力を高める取組を着実に進めてまいります。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と、新しい年が皆様にとって明るく希望に満ちた一年となりますことをお祈りいたします。

愛知県知事

大村 秀章

(名古屋日豪ニュージーランド協会 顧問)



河村市長メッセージ

新年を迎えるにあたり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症との闘いが始まり早2年が過ぎようとしています。

日本国内の新規感染者数の推移は落ち着きを取り戻し、長いトンネルの出口が見えたかのように思いましたが、世界に目を向けると感染の再拡大に加え、新たな変異株であるオミクロン株が出現し、依然として油断できない状況が続いています。私たちはこの2年間で得た知恵と経験を活かしながら、今後も刻々と変わる情勢に柔軟に対応し、その時々で最善の方法を考え、実行していくことで、より良い未来へ繋がると信じています。

さて、以前の会報でも触れましたが、昨年度（2020年度）、名古屋市はオーストラリア・シドニー市と姉妹都市提携40周年を迎え、昨年度コロナ禍で実施できなかった記念事業を今年度（2021年度）に繰り延べて開催しています。

12月4日から19日まで、在シドニー日本国総領事館主導で開催された「Japanaroo+」において、現地シドニーの日本食レストラン「YAYOI」の協力を得て「なごやめし」のPRを行い、シドニーの方が名古屋に触れる機会を作ることができました。また、12月16日には、本市との姉妹都市交流に多大なご尽力をいただいているシドニー名古屋姉妹都市委員会の皆さんを「YAYOI」へお招きし、なごやめしをお召し上がりいただきながら姉妹都市40周年を共に祝うオンライン懇親会を行いました。さらに、当初8月に実施予定であったシドニー市役所主催の姉妹都市提携40周年記念のオンラインイベントは、コロナ禍により度重なる延期を強いられながらも、何とか年度末の3月までに実施すべく、目下調整中です。当初の予定通り、名古屋の東山動植物園とシドニーのタロンガ動物園の動物交流や、名古屋少年少女合唱団とシドニーのゴンドワナ合唱団の合唱交流を紹介する予定です。

今はICT技術の発展と普及により、例え海外であっても、お互いが望めばいつでもリアルタイムで顔を見て話をすることや、現地の様子を見るのが可能になりました。遠く離れた場所においても、気持ちはそばにあるということを相手の顔を見て伝えられる素晴らしい時代です。会員の皆さんの中にもICT技術を活用した海外の方々との交流が定着したという方も少なからずいらっしゃるかもしれません。

しかしながら、やはり直接会って交流できることがどれほど貴重で価値のあることなのか、私たちはこのコロナ禍で痛感しました。長いトンネルにも必ず出口はあります。引き続き励まし合い、協力しながら、出口にたどり着いた暁には、シドニーの友人たちに笑顔で再会できる日が来ることを祈念します。

名古屋市長
河村 たかし
(名古屋日豪ニュージーランド協会 顧問)



東京オリンピック2020で三国が大活躍

東京オリンピックならびにパラリンピックが開催されました。東京オリンピック&パラリンピックは、当初2020年夏に開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で止む無く延期されておりました。1年遅れとなりましたが、2021年7月23日から8月8日までオリンピックが開催され、オーストラリアから482名、ニュージーランドから222名の選手が参加し、また8月24日から9月5日までパラリンピックが開催されました。

各国の獲得したメダル数は以下の通りです。

オリンピック（7月23日～8月8日）

	金	銀	銅	合計	獲得数 順位
Australia	17	7	22	46	6
New Zealand	7	6	7	20	13
Japan	27	14	17	58	3

パラリンピック（8月24日～9月5日）

	金	銀	銅	合計	獲得数 順位
Australia	21	29	30	80	8
New Zealand	6	3	3	12	21
Japan	13	15	23	51	11

オーストラリアとニュージーランドのトピックスを紹介いたします。
記事はそれぞれ、在日オーストラリア大使館ホームページ、在日ニュージーランド大使館フェイスブックより引用いたしました。

(オーストラリア大使館HP 8月10日付掲載より引用)

東京オリンピック閉幕 開催国日本に感謝の意 オーストラリアは史上最多
タイの金メダルを獲得！



アダムズ駐日大使、ホスト国日本に改めて感謝

ジャン・アダムズ駐日大使は、東京オリンピック閉幕にあたり無事に大会を締めくくった日本に祝意を表しました。

「素晴らしい大会を開催して下さった日本の皆さまに感謝します」

「自国開催のオリンピックで、日本代表の選手の皆さんの記録を塗り替える活躍にも歓喜しました」

スコット・モリソン首相も謝意

スコット・モリソン首相も議会で日本に感謝の意を表しました。モリソン首相は「日本政府、オリンピック・ムーブメント、そして特に素晴らしい大会を開催して下さった菅首相と日本の皆さまに、世界は大いに感謝しなければならない」と述べました。

チーム・オーストラリア、東京オリンピックで新たな歴史を築く

オーストラリアは今大会で17個の金メダル、7個の銀メダル、22個の銅メダルと合計46個のメダルを獲得し、史上最も成功した大会の一つになりました。2004年アテネ大会での17個の金メダルと並ぶ結果でした。15の競技で99人のオリンピックメダリストが誕生し、1日に4つの金メダルを獲得するという、オーストラリアのオリンピックの歴史の新しい記録となった、2021年8月1日が最も成績の良かった日となりました。

チェスターマン選手団長は、「オーストラリア人は今回の東京オリンピックの代表チームを今後も長い間覚えていると思います。彼らは（遠く）から見守り、応援してくれたすべての人々と本当の意味でのつながりを築いたと思います」「オーストラリア人は、代表選手それぞれが持つその背景や、重ねてきた努力を知り、メダル獲得、ベストを尽くす姿、勝利または残念であった瞬間も、心に留めることでしょう」と語っています。

オーストラリア国内では、この東京オリンピック期間中、46億分のオンライン・ストーリーミングを記録し、1,990万人の人々が放送を視聴するという、オーストラリアの放送記録も更新しました。



競泳チームは東京オリンピックで新たな歴史を築く

東京オリンピックでのオーストラリア競泳チーム「ドルフィンズ」の活躍は、オーストラリア競泳界に新たな歴史を刻むものになりました。

チーム・ドルフィンズは、今大会を通して9個の金メダル、3個の銀メダル、そして8個の銅メダルを獲得しました。一つの大会で競泳種目で9個の金メダルを獲得したことは、オーストラリアのオリンピック史上最多となりました。

オーストラリア選手団の開会式旗手を務めたケイト・キャンベル選手は、競泳チームはパンデミックという難題によって、チームとして団結することができたと言及しました。「多くの選手にとって、困難な年でした。国際大会に出場することもできず、トレーニングの計画やトレーニングをする場所ですら変更せざるをえない状況でした。しかし逆境を共に経験することで、何かが本当に私たちを団結させました」と語りました。

(ニュージーランド大使館FB 8月9日付掲載より引用)

ニュージーランドの代表選手団は東京五輪での競技を終え、帰国の途についた。今大会には過去最多の222名の選手が参加（男子116名および女子106名）。全体のメダル獲得数としてはニュージーランドは第13位に！過去最多となる計20個のメダル（金メダル7個、銀メダル6個、銅メダル7個）を獲得。「マナアキ」（マオリ語で敬意・思いやり）の心をもって東京大会に励んでくれた選手たちの今後の活躍にも注目したい。



＜東京五輪／ありがとう、日本＞

ニュージーランドの代表選手たちが宿泊する選手村の一角に「ありがとう 日本」の文字が。開催国である日本に感謝の気持ちを伝えるため、選手団団長が率いるチームは異なる色の石を敷き詰めてメッセージを完成させた。



(オーストラリア大使館HP 9月3日付掲載より引用)

パラリンピック代表選手、日本の味を堪能

東京パラリンピックに出場しているオーストラリアの代表選手達が、糖度が高く美味しいと評判の福島県産の桃を堪能しました。今大会で共同キャプテンをつとめ、開会式では旗手としてオーストラリア国旗を掲げて入場した、ダニエラ・ディトロ選手はチームメイトと共に桃の試食を楽しみました。ジャン・アダムズ駐日大使は「ディトロ選手をはじめ、代表選手の皆さんが日本滞在中に福島県産の桃を堪能する機会に恵まれた事を嬉しく思います。この東京大会は復興五輪と位置づけられ、オーストラリアの代表選手たちも福島県の皆さまへの支援を熱心に示してきました。こうして桃を食べることで‘美味しさ’を通して日本と繋がりを深める良い機会になったと思います」とコメントしました。

オーストラリアは2011年の東日本大震災以降、東北地域への支援を続けてきました。震災直後の被災地へ救助隊を送り込むなど、適材適所の支援に加え政府間の枠組みを超え、自治体やコミュニティーレベル、そしてビジネスの分野でもサポートを行っています。



(ニュージーランド大使館FB 9月8日付掲載より引用抜粋)

ソフィー・パスコー水泳選手の左足は、2歳の時に芝刈り機の事故で膝下から切断されました。しかし今ではニュージーランドで最多のメダル獲得数を誇るパラアスリートに成長しました。東京2020パラリンピックでも様々な競泳種目に出場し、金メダル2、銀メダル1、銅メダル1を獲得しました。パラリンピック競技大会としては、初出場した2008年北京五輪以来、これまで4つのパラリンピック競技大会でなんと合計19個ものメダルを獲得しています。ソフィーはニュージーランドを代表する真のスポーツ・レジェンドです！



東邦高等学校主催 英語プレゼンテーションコンテストへ後援

2021年10月31日（日）、東邦高等学校主催の中学生を対象とした「第16回中学生英語プレゼンテーションコンテスト」が開催され、英語に強い関心を寄せる多くの中学生全51名（プレゼンテーション部門8名、レシテーション部門43名）が参加しました。このコンテストは日常の学習成果を発表する絶好の機会を提供するもので、将来を担うグローバル人材の育成に繋がる素晴らしいイベントです。なお当コンテストは、プレゼンテーション部門とレシテーション部門に二分され、それぞれイントネーションや発音が正しかなど、言語以外のコミュニケーションツールも含めて総合審査されます。当協会と在名古屋ニュージーランド名誉領事館共同で、最優秀賞2名と優秀賞1名に賞状と賞品を授与いたしました。引き続き、この有意義なイベントを継続支援して参ります。

受賞者の皆さま

プレゼンテーション部門最優秀賞

3年生 茂中わかなさん（名古屋市）

レシテーション部門最優秀賞

2年生 藤本メリサあゆみさん（半田市）

プレゼンテーション部門優秀賞

3年生 邨澤優奈さん（安城市）



第16回
中学生英語プレゼンテーションコンテスト
(旧 中学生英語スピーチコンテスト)
募集要項



2021年10月31日（日）
主催 東邦高等学校

—後援—

○名古屋姉妹友好都市協会	○在名古屋ニュージーランド名誉領事館
○公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟	○名古屋日本ニュージーランド協会
○一般財団法人 日本国際協力センター	○同財：オーストラリア政府観光局(T-0529)
○毎日新聞社	○シンガポール航空
○アジアナ航空	○株式会社 JTB 教育旅行名古屋支店
○中経総合印刷株式会社 Standard 愛知事業部	○東邦学園 フレンズ・TOHO

会員メッセージ

“ ニュージーランド&オーストラリアに思いを馳せて ”

会員 松村温江

不可思議なご縁で名古屋日豪ニュージーランド協会と巡り合いを頂いた 松村温江 です。

例年には、ルクセンブルグから日本に戻ってきた私が、秋を過ぎた頃にニュージーランドに帰り、第 2 の故郷クライストチャーチでクリスマスと新年を迎えようとして居る頃ですのに、今年はコロナの緊急制限により足止めになり、東郷町の自宅で 24 年ぶりに過ごすことになりました。そして、2022 年 2 月に期限が切れる NZ 自動車免許更新を東京の NZ 大使館に問い合わせた折に、在名古屋 NZ 名誉領事館と名古屋日豪 NZ 協会の存在を初めて知り、懐かしくて即座に会員の申し込みをした次第ですので、宜しく願い申し上げます。

振り返れば、39 歳の企業戦士であった主人がガンになり、2 年後に 2 人の子供を残し無念にも世を去り、それからは私が一家の大黒柱になって働きはじめました。1997 年、私が 50 歳になった時に子供達の教育を無事に果たせましたので、勤務していた漢方薬局を辞めて、無謀にも念願だった自然療法を学びに、誰一人も知らないニュージーランドに初めて行きました。生き抜く事が出来なかった主人の辛さを思えば、生きて居るだけが幸せと感じている私には不安はなかったのでしょうか。

最初の 3 か月はオークランドの語学学校に入学し、その後、ワイヘキアイランドのオーガニックハーブ園の手伝いをしながら、オーナーであるカラーセラピストのドイツ人・ダクマの紹介で、タウランガハーブ協会の自然療法の通信講座を受け、最後のレポート提出のためにタウランガに移り、タウランガのハーブクリニックでの研修を受けました。

そして、1999 年にクライストチャーチにあった Canterbury College Of natural Medicine に入学しましたが、語学の不得手な私は授業が聞き取れず、周りの若い生徒さん達に助けられました。落ち込んだ時は、学校併設のクリニックの先生が、「言葉ではないよ！クライアントがミツエの手技を喜んでいるよ」という言葉に励まされ、薬科大学で学んだ以上に、この 2 年間で人生での最大の学びとなり、アロマセラピーとリフレックスソロジーのディプロマも無事に所得できました。その後先生の個人クリニックで仕事を頂き、2001 年には永住権もとり、アートセンタ管轄のクラマーセンタで自分のクリニックを開き、そのままクライストチャーチ地震で被災を受けるまでの 14 年間は、NZ で暮しておりました。

NZ では、沢山のひとと出会い、いろいろな体験もしましたので、その生活の様子は、常に私のブログ “ Mitsu 便り ” でお知らせしております。

隣人のレスリーは南島の愛鳥団体 Forest & Bird Society に所属していたので、彼らに連れられて山小屋に泊まり、南島の山、川、湖での自然の汚染調査にも参加でき、公民館で気功を教える場所も紹介して下さり、ニュージーランドの人々は、人種や年に関係なく私を育て、自然の中で毎日の生活の豊かさを実感させて下さいました。

<https://ameblo.jp/mitsue-matsumura/entry-12338129781.html?frm=theme>

地震復興の姿

クライストチャーチ空港のクリスマスツリーです。



<https://mitsunews.exblog.jp/13285533/>

NZ 気功

気功の仲間 空の会



<https://mitsunews.exblog.jp/13075775/> ワヘキアイランドバッチ会議
イギリスやオーストラリア、ニュージーランド全土から総勢40名の参加者が集まりました。



会議の会場、
サーフデュールホール

KIWI バッチフラワー会議 ②: Mitsu 便り (Mitsu News) (exblog.jp)

また、ニュージーランドに住んでいると、オーストラリアに移住する知人達もいたので、彼らを訪ねて数度、クインズランド州のブリスベンから北方面のヌーサ国立公園、サンシャインコーストや南方面のゴールドコーストにも行きました。

特に、ダグマーが移住してヨガ教室を開いているペレジウムビーチには、3回も尋ね、彼女と共にコミュニティセンターや老人保健施設の見学や、ユーカリプタスとティトリーの森林も歩き、帰りに山火事にも出会いました。

Mitsu 便り オーストラリアの森 2017.1

<https://ameblo.jp/mitsue-matsumura/entry-12250331821.html?frm=theme>

<https://ameblo.jp/mitsue-matsumura/entry-12255159282.html?frm=theme>

<http://mitsunews.exblog.jp/10185418/>

2009年1月 モー丑年のスタート (オーストラリア1)

<http://mitsunews.exblog.jp/10203745/>

2009年1月 ダグマー、バーナード、バリー (オーストラリア2)

<http://mitsunews.exblog.jp/m2009-01-01/>

2009年1月 カラマーレストホーム (オーストラリア3)

このような平穏だった生活が一変したのは、クライストチャーチ地震でした。

2010年9月のマグニチュード8の時は、煙突が外に崩れて、駐車してあった車の天井や窓が破壊しただけで済みましたが、その後も小さい余震が5000回も揺れ、とうとう2011年2月22日には大災害となり、私も被災を受けて一時不明者となっていました。それを案じたルクセンブルグの娘家族が私をヨーロッパに招き、地震後の10年間は娘家族とルクセンブルグで同居しております。

一方、クライストチャーチ日本人会は、地震後から毎年3月に(今年は中止)、日本祭を開き、その収益金をクライストチャーチと東北の地震復興に資金援助をしていますから、その手伝いと友人との再会のために、私も毎年ルクセンブルグから日本を経由してニュージーランドに帰っていました。

なので、まもなく2年間になろうとする世界規模のこのコロナ騒動が、一日も早く鎮まりますようにと念じずにはおられないのです。

ニュージーランド政府はコロナ対策の対応が早く、昨年(2020)年初めには4段階警告 Covid 19 Alert Level 4 を国民に知らせ、状況に応じ、つど都度段階をしめしますので、皆が理解しやすく、世界で最も安全な国とされています。下図はNZの友人からの話でまとめました。

昨年(2020)の6月からは、マスク無しの普段通りの生活になったそうですが、今年(2021)年8月末に、デルタ株の感染がオークランドで発覚してからは、Level 4 のロックダウンになったそうです。

希望を持って歩みたいと思います。

松村温江



在日ニュージーランド名誉領事館便り



駐日ニュージーランド大使館をバックアップする名誉領事館のうち、札幌と仙台の名誉領事が不在でしたが、この度、札幌に新たに名誉領事が任命され、在札幌ニュージーランド名誉領事館が開設されました。またリンナイ株式会社内にある在名古屋ニュージーランド名誉領事館にも、ニュージーランド大使館から新しい看板が配付され領事館に設置されました。なお新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、全国の名誉領事館は適宜閉館しており、その間の各種手続きは大使館にて代行しております。

2021年12月現在のニュージーランド名誉領事館は以下の通り（北方より順に）

在札幌ニュージーランド名誉領事館（管轄区域：北海道）
 名誉領事：長沼昭夫（株式会社きのとや代表取締役会長）
 住所：札幌市中央区北2条西10丁目2-7 Wall 202号室

在名古屋ニュージーランド名誉領事館（管轄区域：中部）
 名誉領事：林 謙治（リンナイ株式会社代表取締役会長）
 住所：名古屋市中川区福住町2-26

在大阪ニュージーランド名誉総領事館（管轄区域：近畿）
 名誉総領事：井上礼之（ダイキン工業株式会社取締役会長）
 住所：大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル

在福岡ニュージーランド名誉領事館（管轄区域：九州）
 名誉領事：倉富純男（西日本鉄道株式会社代表取締役会長）
 住所：福岡市博多区博多駅前3-5-7 博多センタービル

（報告 / 文責）

在名古屋ニュージーランド名誉領事館 名誉領事補佐 安藤厚史

新入会員ご紹介

本協会に新たに2名が入会されました。

2021年8月入会 松村温江様

2021年10月入会 秋田リウ子様

※2021年12月現在会員数

法人会員12社、個人会員32名

2022年度イベント開催予定

2022年度のイベント開催予定は以下の通りです。皆様との再会を楽しみにしております。

総会および理事会 2022年7月11日(月)

クリスマスパーティ 2022年12月5日(月)

なお状況により中止または変更する可能性があります。

会場、時間など詳細は、後日、書面にてご案内いたします。

会員募集

当協会に興味がある方、オーストラリアやニュージーランドに興味がある方、在日オーストラリア人やニュージーランド人の方々、その他外国人の方(国籍問わず)がお見えでしたら是非ご紹介ください。学生、社会人、老若男女問いません。

年会費 一般 5,000円/人

学生 3,000円/人

法人 50,000円/社

ご連絡頂ければ早々に、お手続きについてご案内致します。

問合先 協会事務局宛

皆様より記事を募集 (寄稿のお願い)

皆様より以下の寄稿をお待ちしております。

- ・オーストラリアやニュージーランドに関する体験談など
- ・会員の皆様からの連絡事項など

寄稿を通じ、会員同士のコミュニケーションツールとしてご利用頂けることを希望いたします。

連絡先 協会事務局宛

皆様の声をお聞かせください

会報をご覧になり、ご感想、ご意見、ご要望が御座いましたら、是非皆様の声をお聞かせください。「こうした方が良い」「こんな記事を載せて欲しい」などお聞かせ頂ければ幸いです。

連絡先 協会事務局宛

編集後記

あけましておめでとうございます。

日頃より当協会へのご支援ご指導、誠に有難う御座います。心より御礼申し上げます。

皆様、大変ご無沙汰しておりますがお元気にお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスが蔓延し早や2年、(不謹慎な表現であり大変恐縮ではありますが)不思議なことに、この生活に慣れてきた様に思います。テレワークやウェブ会議、ウェブによる授業、ウェブ飲み会など何でも遠隔で対処できる世の中となりました。コロナが終息しても、このスタイルが標準となるかもしれません。当協会もこの時流に後れをとらぬ様、イベント開催に工夫を盛り込み企画して参ります。

寒い時期は体調を崩しやすい季節です。暖かい服装、十分な睡眠、手洗いとうがい、栄養あるものを摂る、加湿と換気など十二分に実施され、健康にご留意ください。

今年も皆様のご協力ご支援を宜しくお願いいたします。

編集責任者 事務局長 安藤厚史

会員募集、寄稿、お問合せなど 全ての連絡先

住所：〒454-0802

名古屋市中央区福住町2番26号

リンナイ株式会社内

名古屋日豪ニュージーランド協会 事務局

TEL：052(361)8415

FAX：052(361)8877

メール：nonk@nagoya-janz.jp